

おめでとう！

井の頭恩賜公園

## 開園100周年

100周年記念式典の様子



### 井の頭恩賜公園開園100周年記念式



井の頭恩賜公園は2017年5月1日に開園100周年を迎えた。5月1日～7日には西園競技場を中心に「100歳記念ウィーク」が開催され、多数の来場者でにぎわった。井の頭かいぼり隊もスース出展し、「水上観察会」や「チョコッとかいぼり隊」などの体験イベントも実施した。



「井の頭池の生きもの」展示ブース

「井の頭池にますます愛着が湧いた」という声が聞かれた。このほか、かいぼり隊と一緒に外来種アメリカザリガニのワナを引き揚げる「チョコッとかいぼり隊」も6日間開催。親子連れを中心に大勢が参加し、受付開始前に行列ができる日もあった。



箱メガネをのぞく水上観察会の参加者

### 都知事も注目、井の頭池の自然再生！

5月1日に行われた開園100周年記念式典には、地域の方や公園関係者など約200名の招待者のほか、大勢のギャラリが集まった。小池百合子東京都知事の挨拶では、かいぼりによるイノカシラフラス「コモ」の野生復活に対する喜びや、自然再生に取り組んでいる井の頭かいぼり隊などの都民への感謝が述べられた。武蔵野市と三鷹市の小学生による「100年宣言」では、これからの100年も井の頭恩賜公園を大切にしていきたいという決意が語られた。井の頭池の自然再生の取り組みも、この先100年を見据えて、引き続き地域の方々と協力しながら進めていきたい。

### かいぼり隊 充実した体験型イベント

かいぼり隊はブースでの展示のほかに、体験型イベントとして水上観察会を実施した。フローター（小型ボート）に乗って箱メガネで水中を観察するという新企画だ。開催した4日間とも晴天に恵まれ、53名の井の頭池ファンが水面を堪能した。話題のイノカシラフラスコモもくっきり見ることができた。定置網にスジエビやギンブナがいっぱい入っている様子も観察し、「かいぼりの成果を実感でき



何が捕れるかな？ドキドキのワナ上げ体験



井の頭池情報板は定期的に更新して、新鮮な情報を発信していく。お楽しみに！



井の頭池情報板を見る来園者

今年4月、園内にある井の頭池関連の看板が新しくなった。井の頭池で見られる季節の生きものや、保全活動を紹介する「井の頭池情報板」。七井橋・弁天橋の欄干に設置された「生きもの解説板」。お茶の水井戸付近に設置された「池の自然再生のとりくみ紹介」の3種類だ。



自然再生の取り組みを紹介する看板

旬の情報をお届け！  
新しくなった園内掲示板

## Topics

### 続々誕生！カイツブリのヒナ

今年もたくさんのカイツブリのヒナが育っています。これまでに6つがいで31羽のヒナが誕生しました（8月4日現在）。もう親鳥と変わらないうくらい大きくなりました。ウキゴリやスジエビを捕食する姿を観察できます。



ヒナにスジエビを与える親鳥



池の生きものを紹介するサイン（左：弁天橋、右：七井橋）



## いけいけ！かいぼり隊

イクメン イケガール  
～池男 & 池女のたまごが新加入！の巻～



水草の保存水槽を見学中

今年の夏は、井の頭かいぼり隊三期生として入隊見込みの21名が、講習の真つ最中だ。冬に予定されているかいぼり29に向けて、まずは6回の講習を受ける。これまでの講習で、井の頭池での取り組みの歴史、かいぼり後の自然再生の状況、水草や水生生物の状況について学んだ。アメリカザリガニ防除の野外実習では池デビューも果たし、先輩隊員の指導の下、ワナ回収に励んだ。

講習後は引き続きモニタリングや防除活動に参加して経験を積み、一人前の隊員として力をつけてもらう予定だ。井の頭池の自然再生は、これからも続いていく。新戦力として加わる三期生の活躍に期待したい。



ボート池でワナ回収の特訓中！

### かいぼり隊研修を開催！



内野園長(左)の説明を聞くかいぼり隊

かいぼり隊研修で7月2日に八王子市長池公園を訪ねました。長池公園では湿性植物の保全を精力的に行っています。内野秀重園長の案内で園内の様子や保全の取り組みについて学び、希少種の移植作業をお手伝いしました。都内における水草の危機的な状況を改めて実感するとともに、数少ない水草の自生地である井の頭池の環境保全の重要性を再認識できました。



埋土種子から発芽した植物の移植作業